

第3次浜松市人権施策推進計画(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和6年11月から12月にかけて実施しました第3次浜松市人権施策推進計画(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等12人及び2団体から27件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「第3次浜松市人権施策推進計画」を策定し、令和7年4月からの実施を予定しています。今後とも、人権啓発に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ (<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>) にも掲載しております。

令和7年2月

浜松市健康福祉部福祉総務課

〒430-0916 浜松市中央区早馬町2-1

TEL 053-457-2031

FAX 053-450-7702

Eメールアドレス

jinken@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和6年11月15日から令和6年12月16日		
【意見提出者数】	12人・2団体		
【意見数内訳】	27件 (提案 12件、要望 13件、その他 2件)		
【提出方法】	持参(2) 電子メール(11) FAX(1)		
【案に対する反映度】	案の修正	8件	今後の参考 12件
	盛り込み済	5件	その他 2件

目次

第1章 基本的な考え方	(意見数3件)	2ページ
第2章 重点的な取り組みの方向性と主な取り組み	(意見数6件)	2ページ
第3章 分野別施策の取り組み	(意見数17件)	3ページ
1 女性をめぐると人権		
2 こどもをめぐると人権	(意見数6件)	3ページ
3 高齢者をめぐると人権		
4 障がいのある人をめぐると人権		
5 部落差別(同和問題)		
6 外国人をめぐると人権	(意見数1件)	5ページ
7 刑を終えて出所した人をめぐると人権(第2次再犯防止推進計画)	(意見数1件)	5ページ
8 性的マイノリティをめぐると人権	(意見数4件)	6ページ
9 インターネットによる人権侵害	(意見数4件)	7ページ
10 その他の人権問題	(意見数1件)	8ページ
○その他	(意見数1件)	8ページ

第1章 基本的な考え方（3件）

要望1	実効性のある計画となるようにしてください。
要望2	それぞれの施策に意味があると思いますので、公正に担保できるようにしていただきたいです。

【市の考え方】盛り込み済

具体的な取り組みの事業実績、評価につきましては市のホームページで公開し、各事業の現状を把握、検証した上で取り組みを進めてまいります。

要望3	多様性を重んじ過ぎたり、強調し過ぎる可能性を感じます。
-----	-----------------------------

【市の考え方】その他

令和5（2023）年に実施した人権に関する意識調査によると、「人権尊重の意識が生活の中に定着していると思われますか」との問いに対し、「思う」、「どちらかといえば思う」を合わせて31.7%と低い結果でした。人権尊重のために、市民一人一人がすべきことについては、「人権に関する正しい知識を身につける」が、70.4%となっています。こうした結果から、まずは市民一人一人が多様性について理解を深め、互いの多様性を認め合うことが必要であると考えます。第3次浜松市人権施策推進計画では、すべての人が自分らしく生き暮らすため、多様性を認め合い、一人一人の人権を互いに尊重する意識の定着を政策目標とし、策定しています。

第2章 重点的な取り組みの方向性と主な取り組み（6件）

要望4	無意識の偏見や差別で人を傷つけることがあります。人権教室や啓発事業などを通して、正しい知識を啓発・普及していくことが大切だと思います。
要望5	いじめや体罰など、子どもが被害者となる事案が後を絶ちません。子どもは、一人の人間として最大限に尊重され、守られなければなりません。原因や背景は様々ですが、その根底には他人に対する思いやりやいたわりの希薄さがあると思われます。
要望6	今の世の中の進み方が早く、特にネット社会では、子どもたちの人権を守ることが一番大切だと感じます。子どもたちに命の大切さや、思いやり、やさしさを理解してもらう、子どもたちの人権意識を高める施策や、学校だけでなく家庭での人権教育が重要であると思います。

【市の考え方】盛り込み済

人権尊重意識の定着には、人権に関する正しい知識を身につけることが重要です。引き続き法務局、人権擁護委員、関係団体等と連携して人権に関する正しい知識の普及・啓発に努めてまいります。

要望 7	コロナ以来、地域コミュニティが薄らいできているように感じます。地域でのつながりや関わりを再構築させ、今一度地域力を向上させる取り組みが人権啓発に繋がると思います。
-----------------	---

【市の考え方】 今後の参考

各地区の人権擁護委員と連携し、地域の実情に沿った取り組みを継続的に推進しながら、普及・啓発に努めてまいります。

提案 1	こども自身の人権について正しく知るためには、「わたしが権利の主体である」と実感できることが大切です。そのためには、幼児期から「私だけの領域があること（プライベートゾーン）」の話を含む、包括的性教育は欠かせません。こども達が性的な被害者にも加害者にもならないように、人権教育として「自分だけの大切な身体」であることを、幼児期から家庭でも学校でも繰り返し教える必要があります。教育基本計画、男女共同参画基本計画等にはもちろんですが、人権施策推進計画の中にも入れ込む必要があると考えます。
-----------------	---

【市の考え方】 今後の参考

性を正しく理解するためには、学校・園における教育の推進と周知啓発が重要であると考えます。こどもへの人権教育につきましても、引き続き関係機関に働きかけるとともに、取り組みを推進してまいります。

提案 2	人権教室の開催について学校サイド（校長先生、人権担当教員）への働きかけが継続的にできていないと考えられるため、学校における人権教育（3）具体的な取り組みの「学校訪問活動」について、「人権教室の開催を校長先生に強く推奨する」ことを追加していただきたいです。
-----------------	---

【市の考え方】 今後の参考

人権教室は、人権擁護委員の活動のひとつであり、重要なものと認識しています。人権教室の開催については、関係機関と連携し、機会を捉えて学校に働きかけていきます。

第3章 分野別施策の取り組み（17件）

2 こどもをめぐる人権（6）

提案 3	（2）取り組みの方向性のなかの「こどもたちは、自分を大切にすること（自尊感情）を持つこと」とありますが、「自分が大切な一人の人として社会から大切にされること（大切にされていると感じられること）」で、互いに尊重し合うことのできる人権尊重意識を持つことができるのではないですか。
-----------------	---

【市の考え方】 案の修正

寄せられたご意見を参考に、第3次浜松市人権施策推進計画（解説編）案の一部を修正いたします。

《修正内容》

(2) 取り組みの方向性

(修正前)

子どもたちには、自分を大切にする心（自尊感情）を持つことで、自分だけでなく他の人の大切さも認めることができる、互いに尊重し合うことができる人権尊重意識を育てていきます。

(修正後)

子どもたちには、自分が一人の人として社会から大切にされていると感じられることにより、自分だけでなく他の人の大切さを認め、互いに尊重し合うことができるよう、人権尊重意識を育てていきます。

提案 4	(3) 具体的な取り組みの①こどもの人権が尊重される教育・啓発、③地域の子どもを守る活動支援のなかに、包括的性教育を入れてください。子ども自身の人権を知り、嫌なことは嫌だと表明し、嫌だと言われたらやめ、被害者にも加害者にもならないように「自分を守る」ためには、包括的性教育は欠かせません。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

性を正しく理解するためには、学校・園における教育の推進と周知啓発が重要であると考えます。子どもへの人権教育につきましても、引き続き関係機関に働きかけるとともに、取り組みを推進してまいります。

要望 8	「子どもをめぐる人権」は大切なことです。体系整備等を行っても、表面化しない「いじめ」は、いつの時代もあります。学校以外にも相談できる環境整備は特に重要です。子どもと真剣に向き合える相談機関(学校以外)の充実が身近にあると良いと思います。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

引き続き、地域社会全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの強化に取り組むとともに、相談機関の連携強化を図ってまいります。

要望 9	タブレットで教科書を読み上げる、テスト問題を読み上げるなどが必要ではないでしょうか。ゆっくりペースでも授業を進めていけない子どもたちに学ぶ機会を与えて、配慮をお願いします。
要望 10	子ども達は法律遵守の前に「憲法によって守られている」ことを知る必要があります。自分たちの生活が、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義という三本柱によって守られていること、そして、学ぶことが権利であることを知ってほしいです。

【市の考え方】今後の参考

こどもの実態に応じた配慮をするとともに、こどもの学ぶ権利が守られるよう、家庭・学校・関係機関と連携し、こどもに寄り添った支援を進めてまいります。

提案 5	「スクールソーシャルワーク事業」について、近年スクールソーシャルワーカーの役割が重要視されていると思われるので、内容の部分をもう少しワーカーについて記載した方が良いと思います。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、第3次浜松市人権施策推進計画（解説編）案の一部を修正いたします。

スクールソーシャルワーク事業の説明に加え、スクールソーシャルワーカーの役割を表した概念図を掲載してまいります。

6 外国人をめぐる人権（1）

提案 6	多様性は大切だと思います。外国人の友人がいるので、浜松市民として嬉しいです。市民向けに配布されるリーフレットについて、外国人の人にも読んでもらえるようにルビをつけるといいと思います。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

多くの方に読んでいただけるよう、やさしい日本語版の作成について検討するとともに、わかりやすい周知に努めてまいります。

7 刑を終えて出所した人をめぐる人権（第2次再犯防止推進計画）（1）

提案 7	更生保護サポートセンターについて、あまり知られていないと思われるので、その機能や規模、設置条件、全国での設置状況等を注釈で説明してはどうでしょうか。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、第3次浜松市人権施策推進計画（解説編）案の一部を修正いたします。

以下の説明を追記してまいります。

「平成23年6月に、県内第1号の更生保護サポートセンターが浜松市に開設され、現在は市内7箇所に設置されています。更生保護サポートセンターは、①保護観察対象者との面接場所、②関係団体及び地域団体との連携・調整、③情報発信基地としての役割を持っています。」

8 性的マイノリティをめぐる人権（４）

要望 11	「アウティング」に焦点を当てた事業や取り組みを進め、実績を出してほしいと思います。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

「アウティングの防止」についてはより一層の重要性を認識し、啓発活動や講座、研修会などを実施してまいります。

提案 8	（１）現状と課題 「からだの性（生物学的な性）と心の性（性自認）が・・・」とありますが、からだの性は「出生時に割り当てられた性別」、心の性は「性自認（ジェンダーアイデンティティ）」にしてください。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、第３次浜松市人権施策推進計画（解説編）案の一部を修正いたします。

《修正内容》

（１）現状と課題

（修正前）

からだの性（生物学的な性）と心の性（性自認）が一致しないことや、同性愛や両性愛などの性的指向であることを理由に、周囲の偏見や差別、生きづらさなどを感じている性的マイノリティの人々がいます。

（修正後）

出生時に割り当てられた性別と性自認（ジェンダーアイデンティティ）が一致しないことや、同性愛や両性愛などの性的指向であることを理由に、周囲の偏見や差別、生きづらさなどを感じている性的マイノリティの人々がいます。

要望 12	性的マイノリティに対しての社会的障壁について、啓発活動に取り組む職員が学習し理解することが必要だと思います。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

本市として多様な性の理解促進を図るため、職員が正確な知識を持って適切に行動することが出来るよう努めるとともに、関係団体と連携、協力し施策を推進してまいります。

要望 13	P45の注釈について、内容が雑すぎるので、当事者グループと協議してはどうでしょうか。
------------------	--

【市の考え方】案の修正

当事者団体のご意見を参考に、第3次浜松市人権施策推進計画（解説編）案の一部を修正いたします。引き続き、性の多様性に関する正しい知識の普及・啓発に努めてまいります。

9 インターネットによる人権侵害（4）

提 案 9	「9 インターネットによる人権侵害」は「9 インターネット上の人権侵害」という文言に替えてはどうでしょうか。
----------------------	--

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、第3次浜松市人権施策推進計画案の一部を修正いたします。

人権侵害の直接の要因がインターネットではなく、インターネット上でのSNS等の利用方法や利用者のモラルの問題であることから、「インターネットによる人権侵害」の表現を「インターネット上の人権侵害」に修正していきます。

提 案 10	「現状と課題」の中にある「インターネット利用にともなう人権問題」という表現を、「SNS等の利用に伴う差別表現やネットいじめ、個人情報の流出」などの具体的な現状を入れたらどうでしょうか。
-----------------------	--

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、第3次浜松市人権施策推進計画案の一部を修正いたします。

《修正内容》

「現状と課題」

（修正前）

「インターネット利用にともなう人権問題」

（修正後）

「SNS等の利用に伴う差別表現やネットいじめ、個人情報の流出」

提 案 11	人権については、SNS上で多く侵害等がなされているイメージがあります。SNS等の対策などの記載があってもしかるべきではないでしょうか。
そ の 他 1	匿名だからこそ出来ることが多い反面、悪い方向に利用されることも多々あります。今後は、法整備や規制等が必要となると考えられます。今回の内容を取り組むことは、非常に前進した内容だと感じました。

【市の考え方】今後の参考

第3次浜松市人権施策推進計画では、インターネット上の人権侵害について、多くの市民の方に正しい知識と理解を深めていただくために、分野別施策の取り組みの新たな柱として追加しました。SNS等の対策については、社会における現状の問題などを把握した上で、啓発・教育等の取り組みを推進してまいります。

10 その他の人権問題（1）

提案 12	「現状と課題」の中で「H I V患者、ハンセン病患者への偏見や差別」が掲げられていますが、近年の新型コロナウイルス感染症に伴う罹患者や医療従事者への偏見や誹謗中傷等を鑑み、「感染症患者等への偏見や差別」とした方が良いのではないのでしょうか。
------------------	--

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、第3次浜松市人権施策推進計画案の一部を修正いたします。

《修正内容》

「現状と課題」

（修正前）

「H I V患者、ハンセン病患者への偏見や差別」

（修正後）

「感染症患者等への偏見や差別」

○ その他（1）

そ の 他 2	人権擁護委員候補者の選任の仕方について、「公募制」を加えていただきたくお願いします。公募制の中で選任された委員であれば、委員としての使命感が高い地点にあるのではないのでしょうか。
----------------------------	---

【市の考え方】その他

人権擁護委員は、人格・識見などが高い人材が求められるとともに、その活動は地区ごとに行われていることから、原則、地域をよく知る自治会連合会に依頼し、推薦いただいています。寄せられたご意見は、参考として委嘱に携わる法務局と共有し、市人権擁護委員へ情報として提供をさせていただきます。